

平成27年9月28日  
釧路信用組合

## 経営審査会議の設置ならびに第1回会議結果の概要について

当信用組合は外部有識者から経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的として、外部有識者3名により構成する「経営審査会議」を新たに設置いたしました。

過日、「第1回経営審査会議」を開催しその概要につきまして、下記のとおり取り纏め致しました。

### 記

#### 1、開催日時

平成27年7月28日（火） 15:00 ～ 17:00

#### 2、開催場所

釧路信用組合 本店

#### 3、出席者

（経営審査委員）

尾崎 泰文 （座長 釧路公立大学経済学部 准教授）

簗島 弘幸 （弁護士）

鈴木 直哉 （釧路商工会議所 理事事務局長）

（釧路信用組合 事務局）

岩田 豊 （理事長）

坂井 俊次 （専務理事）

涌井 清一 （常務理事）

小倉 正 （常勤監事）

藤原 和巳 （総務部長）

#### 4、岩田理事長挨拶要旨

当組合が盤石な経営基盤構築のため、平成26年12月金融機能強化法に基づく公的資本支援80億円を受け自己資本の充実を図りました。又、その際策定した経

営強化計画のなかに外部有識者から構成される第 3 者委員会を設置することを盛り込んだことから本会議結成の運びとなりました。外部有識者より経営についての助言・提言をいただき、当組合の経営に反映させ、当組合の機能・特性の発揮、地域の活性化に取り組んでいく所存です。

#### 5、当組合からの説明要旨

岩田理事長より平成26年度決算実績と「経営強化計画」における計数計画の実施状況（26年度中の数値目標は達成）について説明いたしました。

#### 6、委員からの発言要旨

- ・釧路信用組合に対する感想として、日頃、中小企業者、及び新規創業者に対する支援をしっかりとされているとの印象を持っている。この先、組織及び人員・人件費の抑制をしている中で、貸出金を増強していくには職員のモチベーションを維持する方策が必要と思われる。
- ・メガバンクから地域密着型金融機関まで多種多様な金融機関がある中、以前は互いの棲み分けがあったよう思われるが、昨今はその差も無くなったように感じる。貸出を伸ばして利益をあげるには、リスクを伴うとみられるが、リスク管理をしっかりとする必要がある。
- ・信組には渉外担当者と顧客との厚い信頼関係が築かれ、金利が多少高くても取引を継続してくれる先がある。このような現状を認識したマンパワーの育成や活用を検討する必要がある。

#### 7、岩田理事長からの発言要旨

- ・かつて 200 名以上いた職員が現在 113 人となっている。人がいない中どう貸出を増やすかが当組合の課題で、例えば貸出ニーズのある店舗にウエートを置きマンパワーの配置を考えている。
  - ・人件費は下げっ放しにはしていない。若年層には定期昇給を復活させた。また、諸手当の改善も徐々に行っている。
  - ・大手銀行が行うスコアリングシート方式の与信判断は行っていない。100%のリスクヘッジは不可能だが、フェース・トゥ・フェースで実態をよく見て与信判断させている。しかし、そのパフォーマンスは不足している。また、特定先に偏重した融資は回避している。
  - ・以上ご指摘のあった点に関するこれまでの当組合の取組のポイントを申し上げましたが、本席ご指摘を受けた点につきましては、今後、当組合の経営強化委員会、常務会で協議し対処して参る所存であります。
- 本日は貴重なご意見・ご提言をいただきまして誠にありがとうございました。

この先も経営強化計画の達成に向け、引き続き努力して参りますので、今後とも皆様のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。

当審査会において、委員からの指摘事項については、理事会において付議し、強化計画の達成を目指して経営努力を重ねて参る所存であります。平成28年1月に開催を予定している第2回審査会において、理事会の協議結果のほか、その後の経営努力について報告し、改めて審査委員から助言・提言をいただくこととしています。

以上